

『ぼくのすむまち かまくらさんへ』 駒崎陽

「葉っぱの色がおもしろい、きれいだな。」

「遠くであそんでいる友だちもよく見える。」

「オニヤンマ、せん回してきたのかな。」

ぼくの大すきなあそびは、大えのきの木にのぼること。大えのきにのぼると、いつもより高いところでのんびりできるから、はっぱや虫たちとなかよくなれる気がしてわくわくするよ。

大えのきの木は、ぼくのすんでいる町、かまぐらの広町りよくちの中にある。広町ではいつも、大えのきにのぼったり、友だちとしばふの上でおにごっこをしたり、ザリガニとりをしたりしてあそんでいるよ。

お父さんがこどものころすんでいたまちはしぜんが少なくてしぜんの中であそんだことはないって教えてくれた。だからしぜんいっぱいのかまぐらにすめてぼくはラッキーだとおもう。これからもたくさんあそぼうね。